

---

# ある日の男子生徒と女子生徒の立ち話

皆本隆弘

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある日の男子生徒と女子生徒の立ち話

### 【Nコード】

N1702N

### 【作者名】

皆本隆弘

### 【あらすじ】

とあるのろけばなし。

「けだるいなあ」

「いつもそうね。そうやって腐っていくといいわ」

「風紀委員達のよくわからん運動に巻き込まれて要らん体力を使う羽目になったんだ。少しぐらい腐ってもいいだろ」

「私が目くじら立ててんのはいつもけだるそうにしている点よ。別にあの連中の巻き添えをくらわなくてもぐだぐだしていたでしょう」

「とはいうもののな・・・いや、確かに言う通りか」

「そうね。だからさっさと続きをしましょう？」

明日提出する羽目になる数学の宿題の答え合わせ」

「けだるい理由の第一がお前の宿題の手伝いだということを完全に無視しているな」

「いいでしょう。どうせ暇人なんだし」

「おれが文系でお前が理系のクラスであることを完全に無視しているだろう。つうか、数学の？や？ならまだしも、BやCは普通文系は習わないところなんだが？」

「でも得意でしょう？ 1年時いつも満点に近い点数をたたき出してたじゃない。といか何故文系を選らんだ」

「それは秘密だ。つか話をそらすな。1年はともかく2年以降は全く習わんぞ、三角関数や微分積分法なぞわかるか」

「そのわりには隠れて勉強しているみたいけど」

「…必要と感じたからな」

「え？」

「まあ、それはそれだ。とつとはじめるか」

「ちょ、ちょっとー！」

今の、もう一度言いなさいよー！」

（後書き）

…結局才子思いつけなかったー！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1702n/>

---

ある日の男子生徒と女子生徒の立ち話

2011年1月26日13時09分発行